

「次期国有財産総合情報管理システムの保守業務 調達仕様書(案)」に対する意見招請の結果について

項番	該当箇所			意見内容		修正有無	回答
	対象	頁	項目番号	該当部分	修正案		
1	調達仕様書(案)	12	4.4	4.4. 外部システム支援 設計開発事業者がその契約期間において次期GIMAとの連携テスト等の対応を行っている。保守事業者は、本支援を引継ぎ次期GIMA本番移行(令和6年2月予定)を支援すること。作業スケジュールは、別紙3「全体スケジュール」を参照すること。なお、次期GIMAの詳細については受託後に開示する。	—	次期GIMAへの本番移行について、具体的にどのような方針で実施することを想定をされているか確認したい。また、併せて次期GIMAへの本番移行作業で発生する保守事業者としての想定作業を確認したい。	○ 設計開発事業者が作成する「移行計画書」に従い、作業をお願いします。受託後速やかに引継ぎを受けることを想定しておりますが、R6.1.31までは設計開発事業者の支援を受けることが可能です。 具体的な作業内容は設計開発事業者から引継ぎを行います、以下を想定しております。 ・ GIMA接続に必要なアプリケーション設定値の見直し ・ インフラ設定の変更 ・ 切替後の動作確認 等 仕様書については、以下のように修正します。 【修正後】 設計開発事業者がその契約期間において次期GIMAとの連携テスト等の対応を行っている。保守事業者は、本支援を引継ぎ、次期GIMA本番移行(令和6年2月予定)を支援すること。作業スケジュールは、別紙3「全体スケジュール」を参照すること。作業内容は、GIMA接続に必要なアプリケーション設定値の見直し、インフラ設定の変更、切替後の動作確認等を予定しているが、詳細については、受託後に設計開発事業者から引継ぎを行う。